

兵庫県内の市町財政の状況(令和2年度)

(1) 経常収支比率の状況

【資料1】令和2年度兵庫県内各市町の経常収支比率(単年度)の状況<地図>	109
【資料2】経常収支比率の対前年度比較	110

(2) 実質公債費比率の状況

【資料3】令和2年度兵庫県内各市町の実質公債費比率の状況<地図>	111
【資料4】実質公債費比率の対前年度比較	112

(3) 将来負担比率の状況

【資料5】令和2年度兵庫県内各市町の将来負担比率の状況<地図>	113
【資料6】将来負担比率の対前年度比較	114

(4) 税徴収率の状況

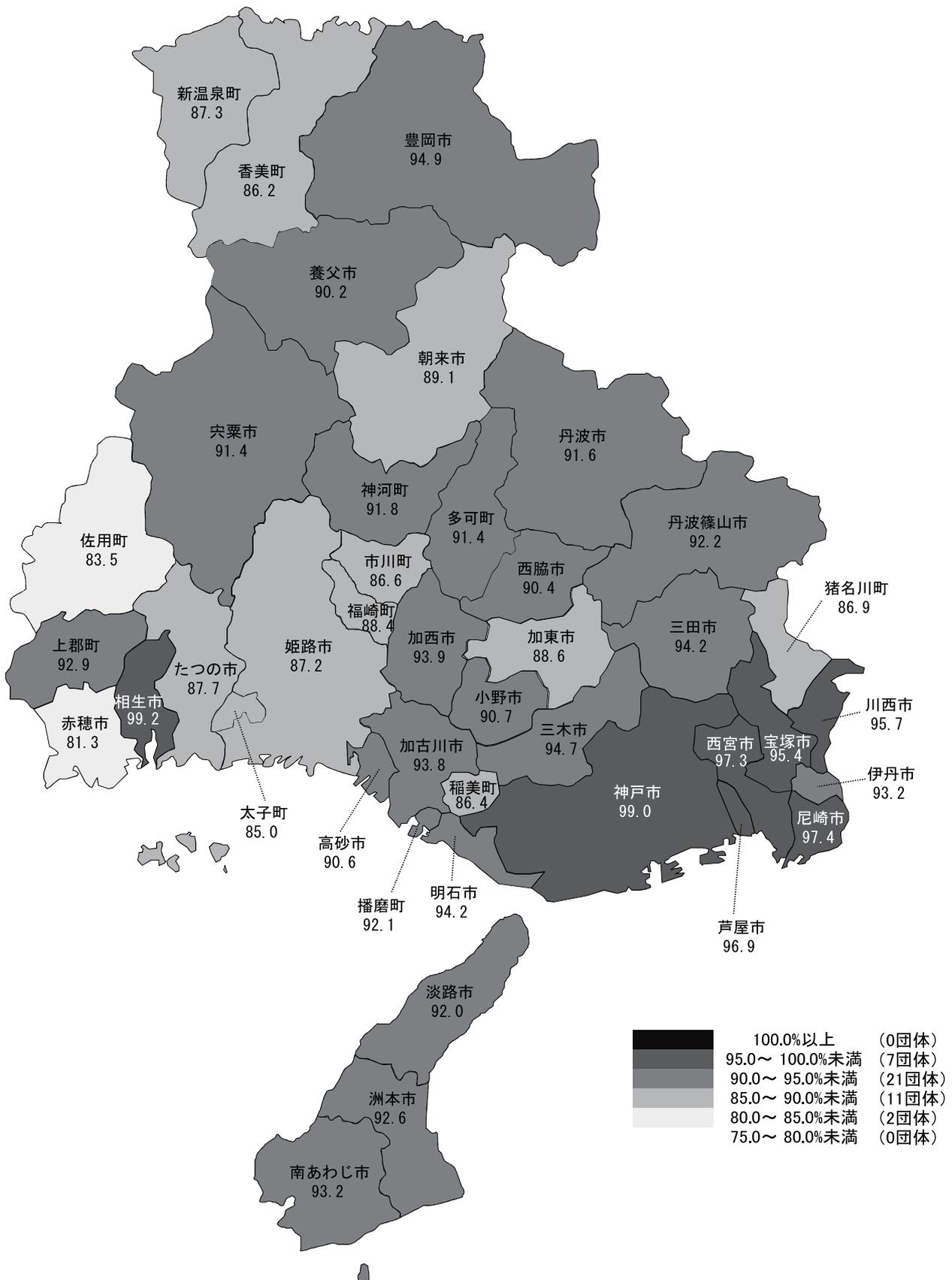
【資料7】令和2年度兵庫県内各市町の徴収率(個人住民税)の状況<地図>	115
【資料8】徴収率(個人市町村民税)の対前年度比較	116
【資料9】令和2年度兵庫県内各市町の徴収率(固定資産税)の状況<地図>	117
【資料10】徴収率(固定資産税)の対前年度比較	118
【資料11】令和2年度特別徴収実施率の状況<地図>	119
【資料12】特別徴収実施率の対前年度比較	120

兵庫県内の市町のラスパイレス指数(令和3年)

【参考資料①】令和3年兵庫県内各市町のラスパイレス指数の状況<地図>	121
【参考資料②】ラスパイレス指数の対前年比較(令和2年-令和3年)	122

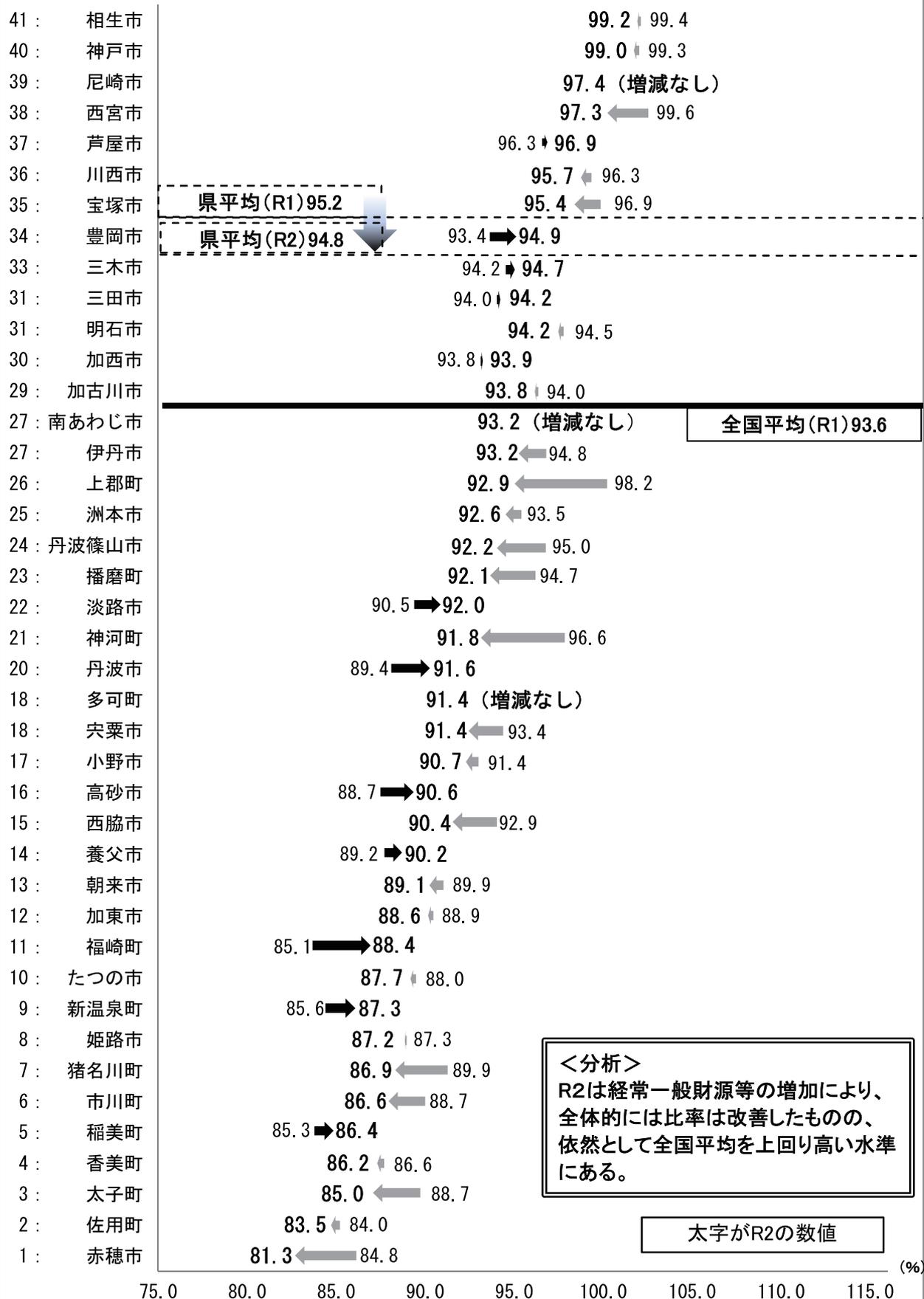
令和2年度兵庫県内各市町の経常収支比率（単年度）の状況

- 令和2年度の経常収支比率の県内市町平均は94.8% (R1全国平均は93.6%)
- 経常収支比率が最も高い団体は、市では相生市(99.2%)、町では上郡町(92.9%)
- 経常収支比率が最も低い団体は、市では赤穂市(81.3%)、町では佐用町(83.5%)



経常収支比率の対前年度比較

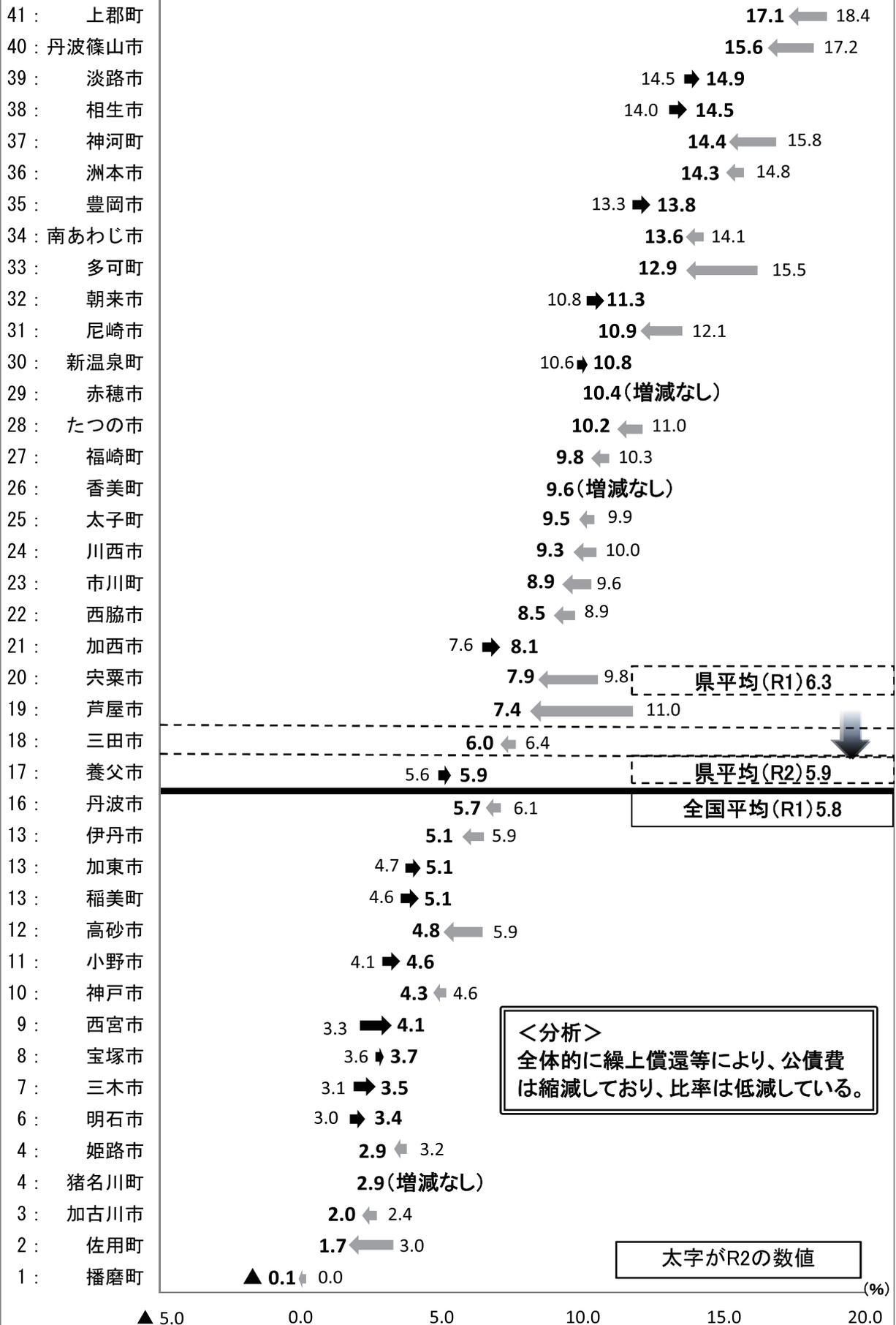
- 前年度から比率が増加したのは12団体、比率が減少したのは26団体、3団体が増減なし。
- 最も減少したのは、市では赤穂市(▲3.5)、町では上郡町(▲5.3)。
- 最も増加したのは、市では丹波市(+2.2)、町では福崎町(+3.3)。



実質公債費比率の対前年度比較

【資料4】

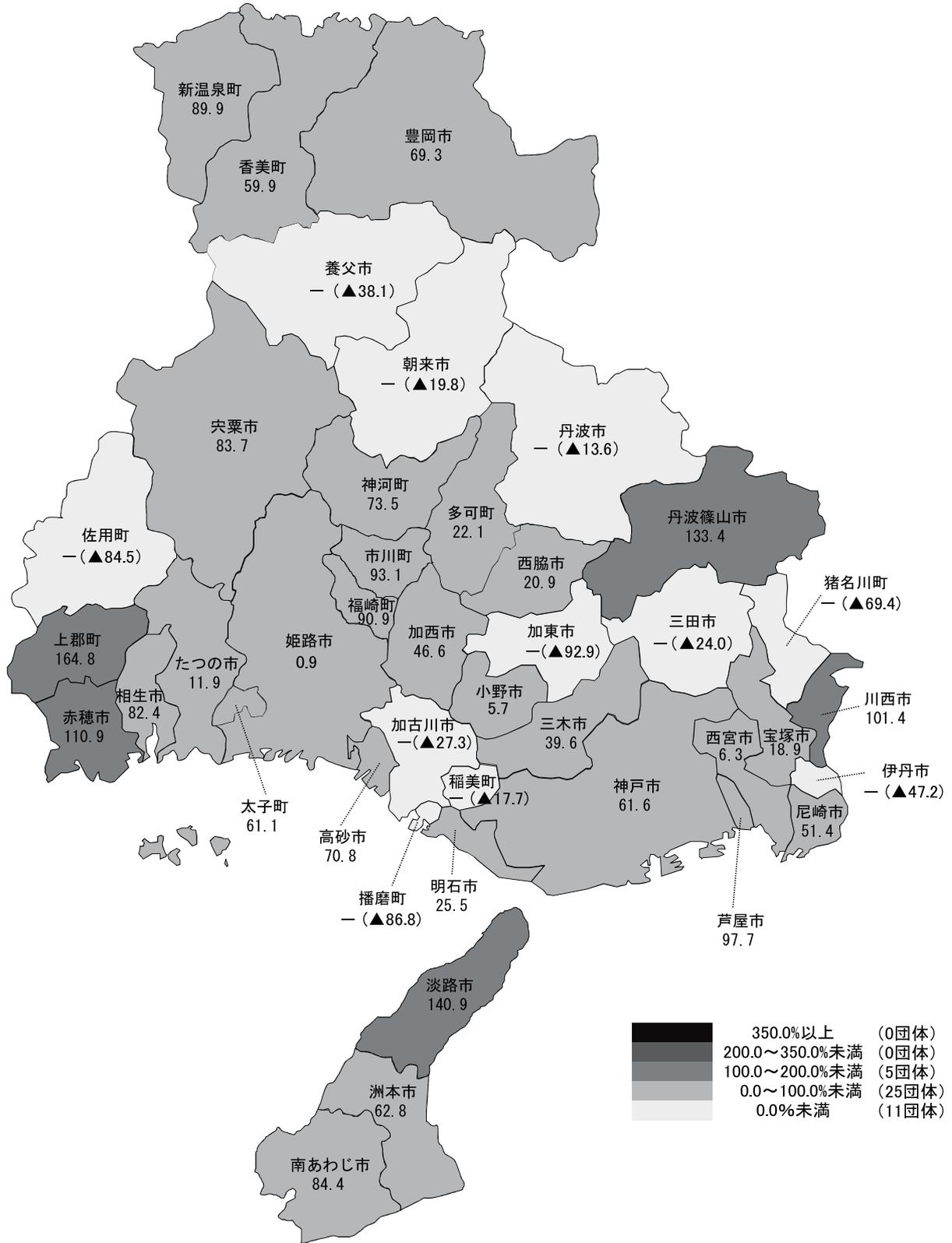
■前年度から比率が増加したのは14団体、比率が減少したのは24団体、3団体が増減なし。
 ■最も減少したのは、市では芦屋市(▲3.6)、町では多可町(▲2.6)。
 ■最も増加したのは、市では西宮市(+0.8)、町では稲美町(+0.5)。



<分析>
 全体的に繰上償還等により、公債費は縮減しており、比率は低減している。

令和2年度兵庫県内各市町の将来負担比率の状況

- 令和2年度の実質公債費比率の県内市町平均は37.1% (R1全国平均は27.4%)
- 将来負担比率が350%以上(早期健全化団体)^{※1}の団体はない。0.0%未満の団体は加東市、播磨町など11市町。

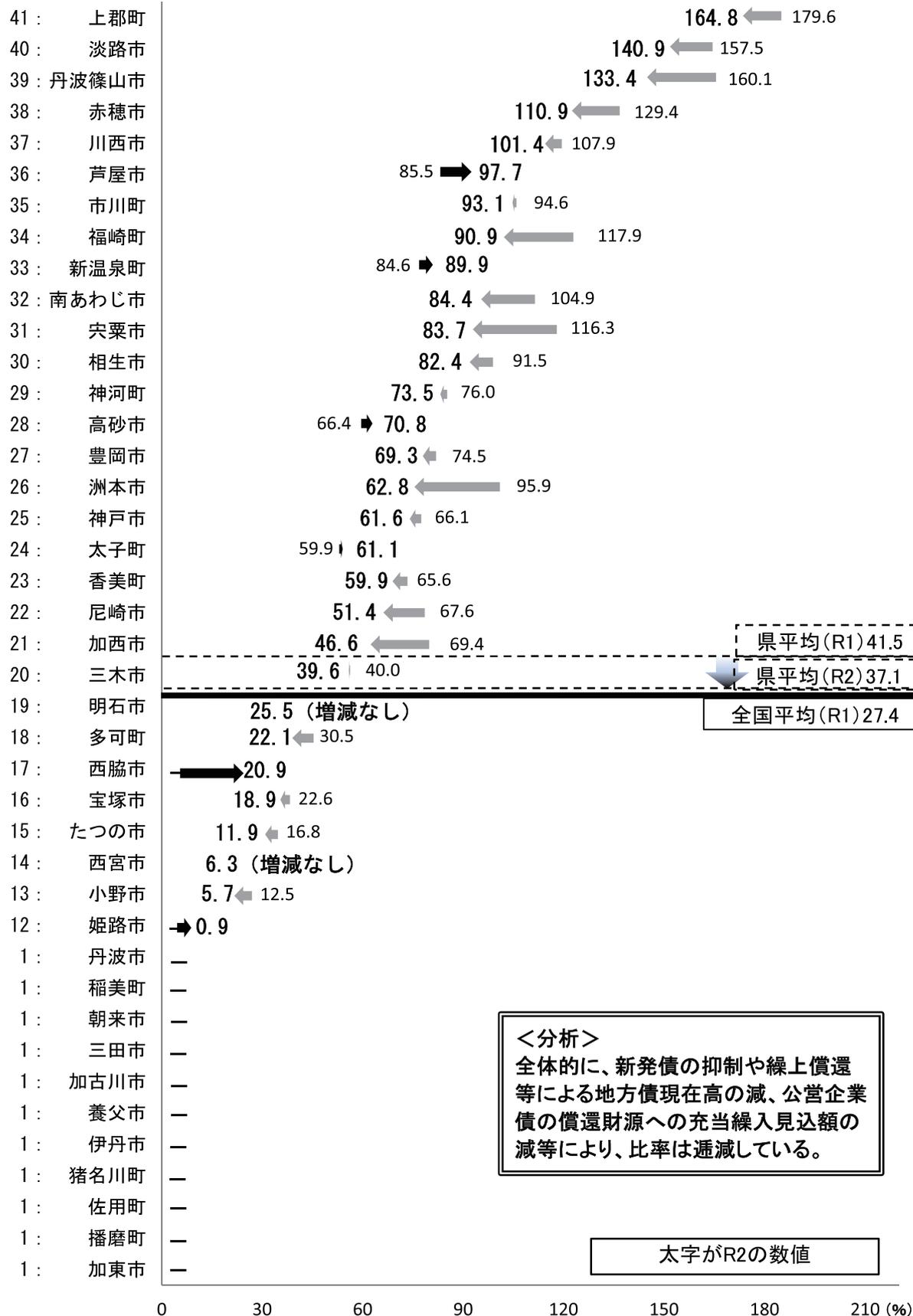


※1 将来負担比率が350%以上(政令市においては400%以上)の地方公共団体は、早期健全化団体となり、財政健全化計画を定めなければならない。
 ※2 将来負担比率について、公債費充当可能財源等が将来負担額を上回るため比率が算定されない団体は、「-」で表示。(括弧書きで、公債費充当可能財源等の超過率を参考表示。)

将来負担比率の対前年度比較

【資料6】

■前年度から比率が減少したのは28団体、比率が増加したのは11団体、2団体が増減なし。
 ■最も減少したのは、市では洲本市(▲33.1)、町では福崎町(▲27.0)。
 ■最も増加したのは、市では西脇市(+24.6)、町では新温泉町(+5.3)。

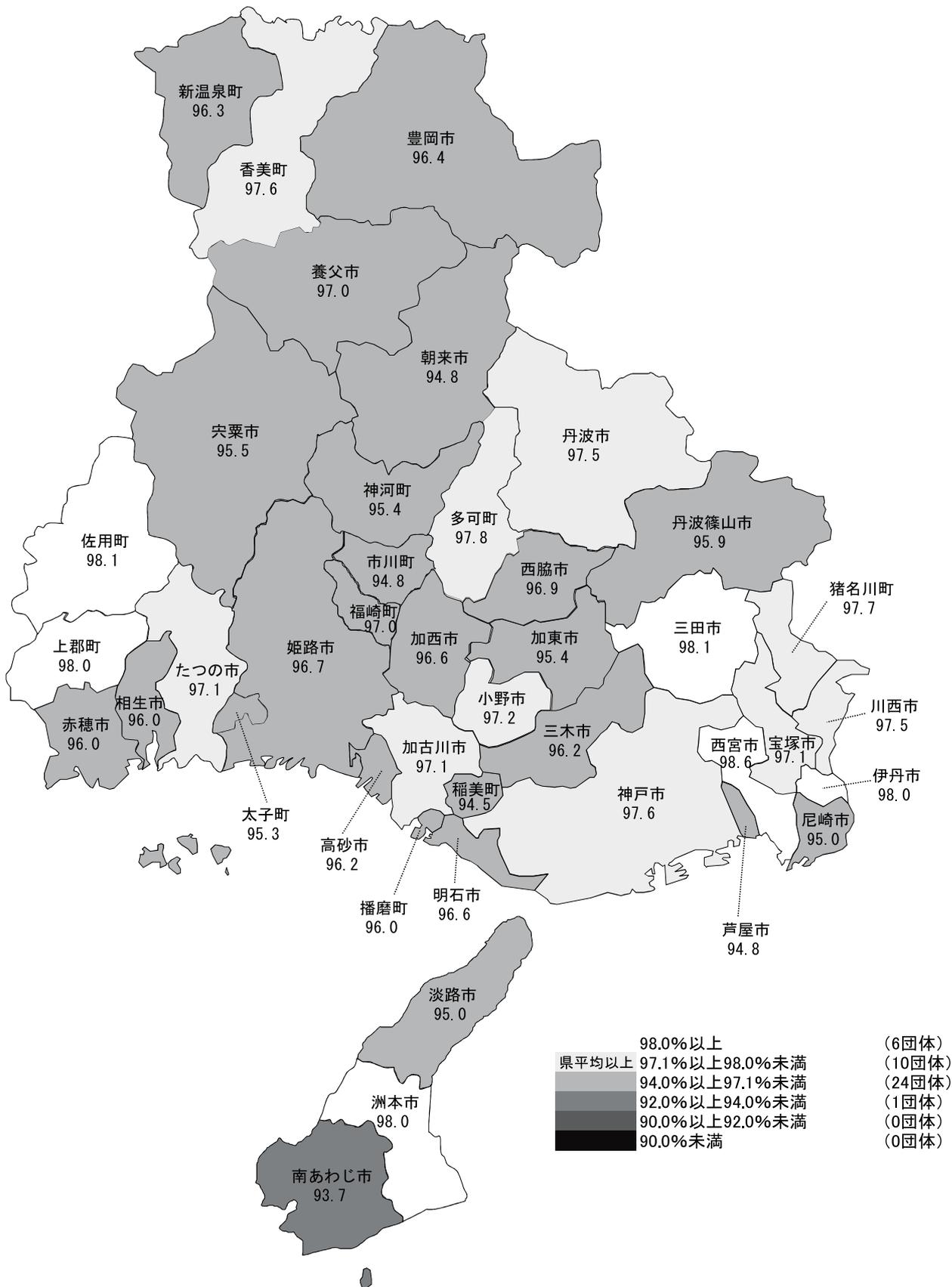


＜分析＞
 全体的に、新発債の抑制や繰上償還等による地方債現在高の減、公営企業債の償還財源への充当繰入見込額の減等により、比率は逡減している。

太字がR2の数値

令和2年度兵庫県内各市町の徴収率(個人市町村民税)の状況

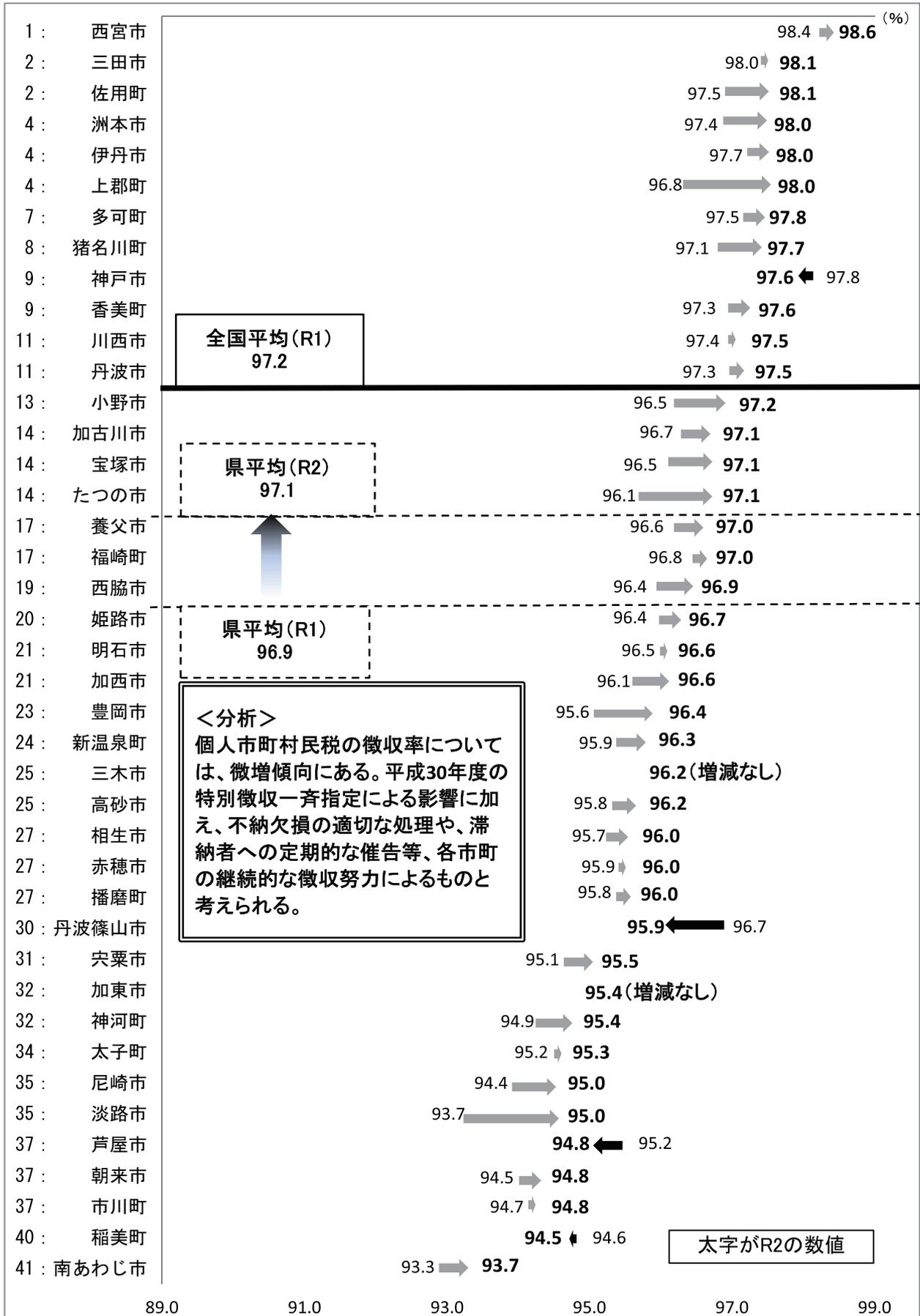
- 徴収率の県平均は97.1%(R1県平均96.9%)
- 徴収率が最も高い団体は、市では西宮市(98.6%)、町では佐用町(98.1%)
- 徴収率が最も低い団体は、市では南あわじ市(93.7%)、町では稲美町(94.5%)



徴収率（個人市町村民税）の対前年度比較

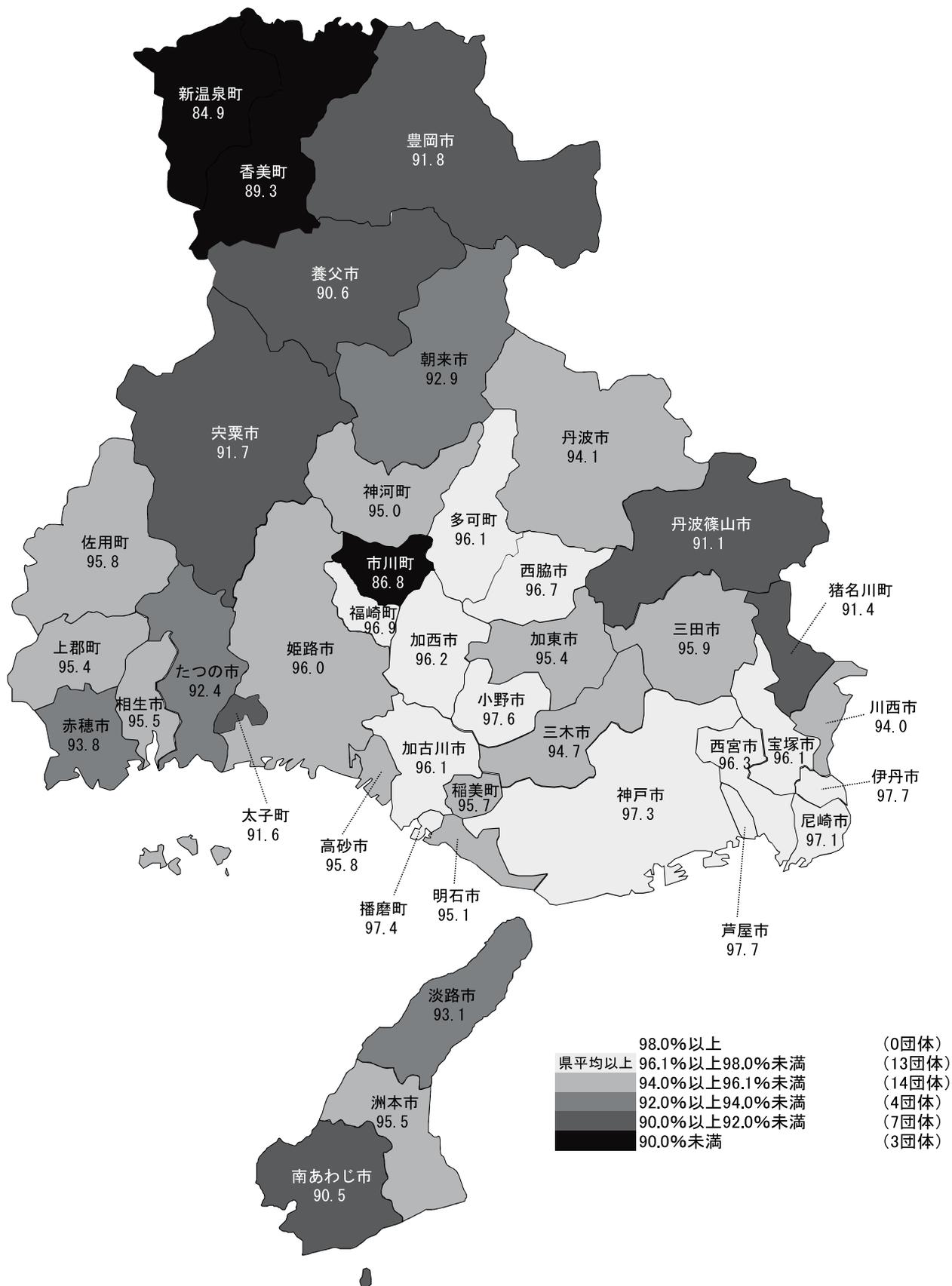
【資料8】

■前年度から徴収率が減少したのは4団体、増加したのは35団体。
 ■最も増加したのは淡路市（1.3%）、最も減少したのは丹波篠山市（▲0.8%）



令和2年度兵庫県内各市町の徴収率(固定資産税)の状況

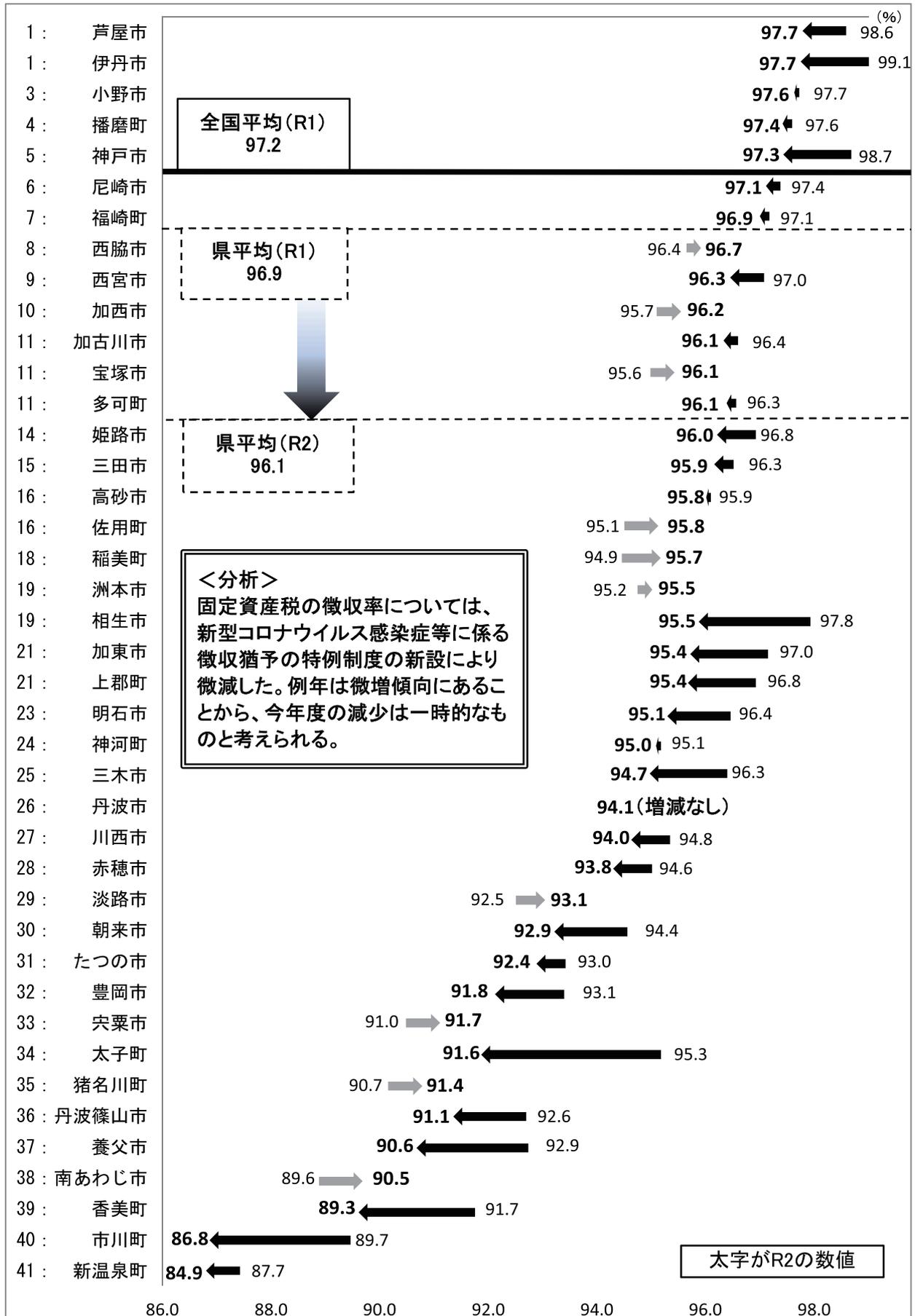
- 徴収率の県平均は96.1%(R1県平均96.9%)
- 徴収率が最も高い団体は、市では芦屋市(97.7%)、町では播磨町(97.4%)
- 徴収率が最も低い団体は、市では南あわじ市(90.5%)、町では新温泉町(84.9%)



徴収率（固定資産税）の対前年度比較

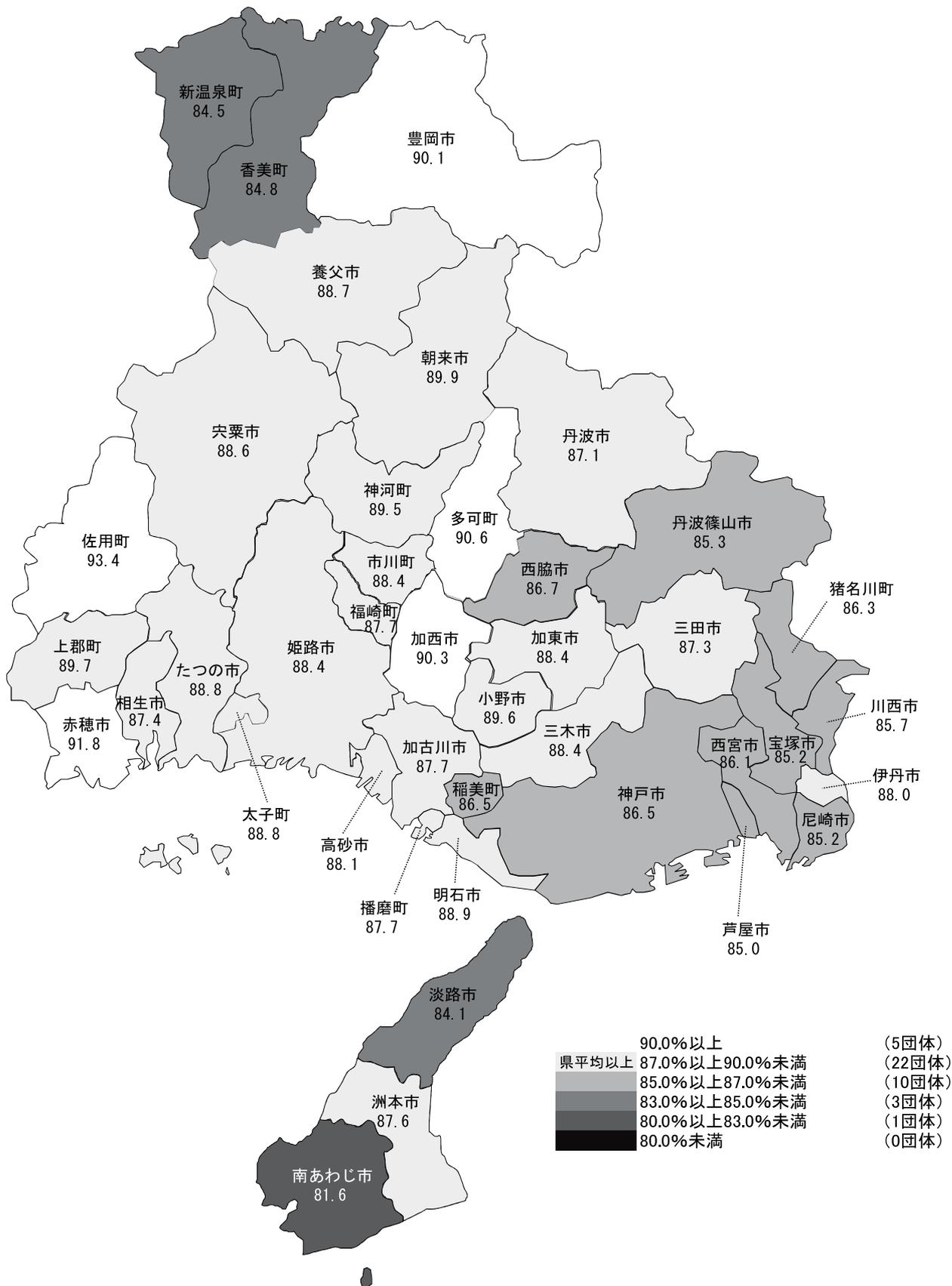
【資料10】

■前年度から徴収率が減少したのは30団体、増加したのは10団体。
 ■最も増加したのは南あわじ市(0.9%)、最も減少したのは太子町(▲3.7%)



令和2年度兵庫県内各市町の特別徴収実施率の状況

- 特別徴収実施率の県平均は87.0%(R1県平均87.2%)
- 特別徴収実施率が最も高い団体は、市では赤穂市(91.8%)、町では佐用町(93.4%)
- 特別徴収実施率が最も低い団体は、市では南あわじ市(81.6%)、町では新温泉町(84.5%)



特別徴収実施率の対前年度比較

【資料12】

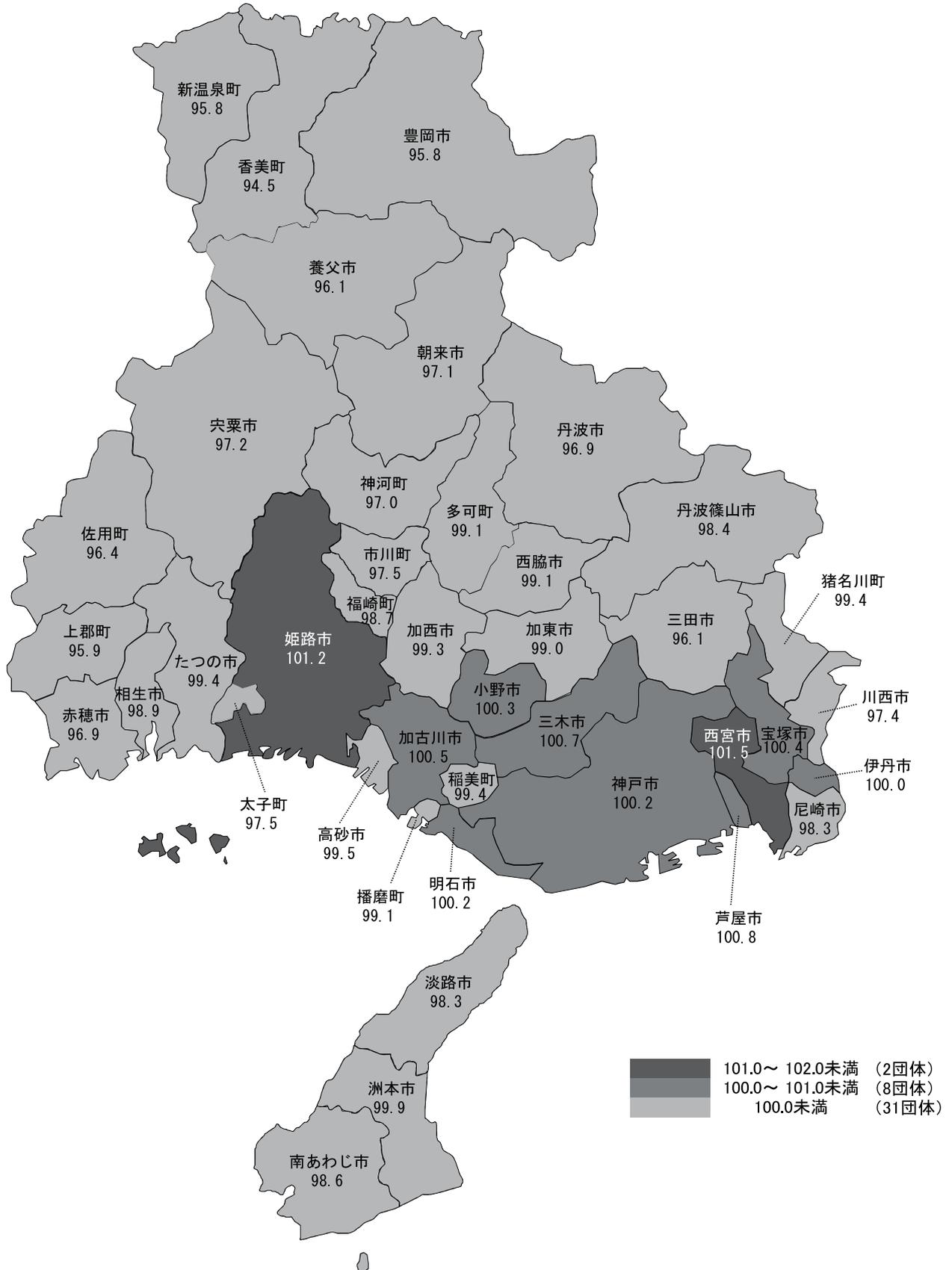
- 前年度からの比率は33団体で増加した。
- 最も増加したのは丹波市(2.1%)。



※特別徴収実施率＝給与所得者のうちの特別徴収で納付している人数／給与所得者の納税義務者数

令和3年兵庫県内各市町のラスパイレース指数の状況(R3.4.1)

○ラスパイレース指数※が100.0以上の団体は、西宮市(101.5)、姫路市(101.2)など10市町。
 ○ラスパイレース指数が100.0未満の団体は香美町(94.5)など31市町。



※ ラスパイレース指数：国家公務員一般行政職の俸給月額を100とした場合の地方公務員一般行政職の給与水準

令和3年ラスパイレス指数の対前年比較

【参考資料②】

